

富士フィルム 4K放送用レンズをデモ 4K中継車で採用



富士フィルム

富士フィルムは、4K RDTMは軽量で小型ながら、放送用カメラ向けレンズから、8.22倍ズームを実現した。ともに高精度の1本でカバーする「UAフォーカス操作が可能。80×9BESM」を展示。また、フジノンヨーロッパは、欧州初の4K中継



キヤノン

メソ向けレンズである86倍ズームレンズ「UHDDIGI SUPER86」および、90倍の「UHDDIGI SUPER90」、広角4.3ミリの12倍ズームに対応する「CJ

NTTエレ4K HEVCエンコーダー 1チップLSIで小型化

NTTエレレクトロニクスは、4K/60p、4:2:2対応のH.265/HEVCリアルタイムエンコーダー「HHC11000」を展示した。NTTメディアインテリジェンス研究所が開発したエンコーダー技術をもちとしており、高品質



NTTグループのブース

映像規定であるMain 4:2:2 10プロファイルで、4K映像をリアルタイムに配信できる。1チップLSIを搭載することで、汎用プロセッサでは実現が困難だった装置の小型化、低消費電力化を実現。HDFフォーマットの配信にも使用できる。

4K収録機を拡張 HDMI入力に特化 ATOMOS

車2台に、2製品が採用されたことを発表した。



ATOMOS

「IN」を発表した。HDMI入出力専用で、4K/30pのプロレン/DNxを記録できる。手ごろな価格なうえ、タッチパネルベースで使いやすい。

コムワークスは10月1日、デュプリケーター「Bluray写楽ProP」を発売する。シリーズとして初めてブルーレイディスク(BD)の映像に簡易コピーガードをかけられる。低コストでのオンデマンドの小ロット生産が可能となる。

顧客には、少量多種のBDタイトルの販売者やコピーサービス事業者、制作販売会社を想定する。従来、BD映像にコピーガードをかけたというニーズがあったが、技術

コムワークスが発売

コピーガード付きBD複製機 オンデマンド生産が可能に

的あるいは再生互換性の問題から製品化されてこなかった。同社は「ニーズの絶対数は少ないものの、競合製品がほほない状況で、その強い需要に応えられる」とする。操作は「BD簡易プロテクション」ボタンを選び、マスターおよびブランクディスクをセットし開始する。ブランクディスクは専用BD-Rが必要。ライセンスなどの料金は不要だが、DVDのコピーガードにはライセンスが必要。一般的なデュプリケーターとして使用することもできる。

製品は、最大同時複製枚数が1から15枚までの全8モデル。価格は10万9000円〜57万8000円(すべて税別)。専用BD-Rメディアは300枚単位で出荷し、4万3500円。



Blu-ray写楽ProPシリーズ

4K

